

令和8年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	2番 廣野真智子	1. 市の魅力のアピールについて	(1) 各庁舎に訪れた方へ市の様々な施策をアピールするような取組は行っているのか (2) 各公民館や文化センターの行事に関する情報を集約して発信することはできないのか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. ふるさと納税について	(1) 今年度、目標額をどのように達成するのか (2) 新たな返礼品や返礼品取扱事業者の発掘はどのように行っているのか	市長 副市長 担当部長
		3. 消防関係について	(1) 新しい救助工作車について、次のことを問う ① 今までの救助工作車との違いは ② どのくらいの人数の隊員が使用するのか ③ 市民へのお披露目会は行わないのか (2) 高齢者を対象とした防火対策について、具体的に行っている取組はあるのか	市長 副市長 担当部長
		4. 文化財について	(1) 市の文化財の保存に関する市の方針と具体的な取組は (2) 地域の祭りに使用する文化財に対して市はどのように関わっているのか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
2	14番 島津幸枝	1. 海洋プラスチック問題について	(1) 河川に浮遊するプラスチック等の回収は有効とされている。河川（用水含む）におけるごみの現状と撤去の手段は (2) 河川に浮遊するごみをカヌーで回収することを事業化できないか (3) 市内の海岸や港におけるごみの現状と撤去の手段は (4) ポイ捨てが一向に減らない。クリーン作戦も意識向上の面では有効であるが、今年の参加状況は (5) 4月から始めたプラスチック資源の一括回収による実績は。またどのように評価しているのか	市長 副市長 担当部長
		2. オープンクリエイション官民共創について	(1) これまでの包括連携協定での官民連携とどのように違うのか (2) 市長と企業との意向が強まり、市民不在になるのではと危惧する。合議制が担保できる意思決定の場は保障できるのか (3) 官民連携を否定するわけではないが、情報漏えいや企業との癒着の問題のリスクも拭えないと感じる。制度設計はどのようにするのか	市長
		3. ジェンダー平等社会の実現を	(1) ケア労働者の所得は依然低い水準にある。市長は市民の所得を増やすことを公約に掲げているが、ケア労働者の所得をどのように捉え、どのように改善していく方針を持っているのか (2) 女性の意見表明の機会を増やすための方針を問う ① 女性管理職の比率と今後の目標は ② 審議会等への女性の参画率と今後の目標は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	17番 石原芳高	1. 生活道路における法定速度引下げについて	(1) 令和8年9月1日から改正道路交通法施行令が施行されることに伴い、生活道路における自動車の法定速度が、60キロメートルから30キロメートルに引き下げられる。市としての対応をどのように考えているのか	市長 担当部長
		2. 職員の雇用とマネジメントについて	(1) 早期退職者、休職者の状況は (2) 公務員として、できるだけ長く勤めてもらうための方策は	市長 副市長 担当部長
		3. 副市長の責務を問う	(1) 就任から数か月経過したが、副市長としての責務をどのように考えているのか	市長 副市長
4	18番 小谷和志	1. 道路整備について	(1) 市内全域の破損や修繕が必要な道路状況の把握は (2) 道路修繕の計画は	市長 副市長 担当部長
		2. ごみ行政について	(1) ごみ袋の在庫状況は (2) 透明な袋にペットのごみも回収できるようにしては (3) 発泡スチロールの箱をそのまま回収できないか	市長 副市長 担当部長
		3. 入札について	(1) 入札業者の地域指定はどのように決定しているのか (2) 市内業者が事業継続できるような仕組みにならないか	副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
4	18 番 小谷和志	4. 小・中学校のグラウンドについて	(1) 管理はどうしているのか (2) 中学校部活動の地域展開に伴い、どう考えているか	市長 副市長 教育長 担当部長
5	15 番 原野健一	1. 自主防災組織について	(1) 結成状況は。また令和7年度の実働状況は (2) 市からの支援策及び補助金制度は (3) 自助、共助の機運を高めるための各組織や市民全体への方策は	市長 副市長 担当部長
		2. 景観整備について	(1) 尻海から師楽につながる錦海堤防管理道の西側沿い全域に桜の木を植えてはどうか (2) オリーブロードは景観を観光資源とするために造られたが、全くその体をなしていない。眺めのすばらしい本来の道路となるよう一歩踏み出してみては	市長 副市長 担当部長
		3. 小規模事業者支援策について	(1) 仕入価格や光熱費の高騰等により経営が圧迫されている小規模事業者にさらなる支援策は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
6	1 番 谷 美香	1. 備前長船の刀剣文化を 生かした観光振興と地 域経済活性化について	(1) 備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画の実施状況を問う ① 今期の山鳥毛公開の来館者数や来訪状況も踏まえ、市はどのように分 析しているのか ② 山鳥毛公開によって得られた成果と、今後の課題をどのように認識し ているのか ③ 山鳥毛公開による経済効果をどのように把握、評価しているのか (2) 刀剣文化を核として、市内周遊や消費拡大を促し、市全体の経済波及効 果を高めるための今後の戦略はあるのか	市長 副市長 担当部長
		2. 地域おこし協力隊の受 入れについて	(1) 協力隊の募集内容と募集時期についてどのような計画で進んでいるのか	市長 副市長 担当部長
		3. 児童・生徒が安心して 登校できる環境づくり について	(1) 登校時刻の見直しにおける周知の考え方と、学校ごとに異なる通知時期 についてどのように捉えているのか (2) 実施後の状況把握と見直しについての考えは (3) 低学年児童や配慮が必要な家庭への登校支援についてどのように考えて いるのか	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
7	10番 川勝浩子	1. 災害に対する取組について	(1) 5月29日より、新たな防災気象情報の運用が開始されたが、市民への周知の仕方は (2) ペットの同行避難に対する現状は	市長 副市長 担当部長
		2. 教育環境について	(1) 学校外教育バウチャー給付事業について、次のことを問う ① 具体的な内容はどのようなものか ② 進め方はどうしていくのか (2) 給食エプロンの香り問題（香害）への対策としては	市長 副市長 教育長 担当部長
		3. 多様な働き方について	(1) 繁忙期の農業の人手不足や短時間就労を希望する高齢者などのため、瀬戸内市版スキマバイトアプリなどの導入を考えてみては	市長 副市長 担当部長
		4. 観光への取組について	(1) 邑久駅と長船駅に、コインロッカーが必要ではないか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
8	12番 厚東晃央	1. 子育てしやすいまちについて	(1) こどもひろばやプレーカーの今後は (2) こどもの遊び場としてゆめトピア長船に芝生広場を整備しては	市長 副市長 担当部長
		2. 市内中小業者の支援について	(1) 大規模マルシェの進捗状況と今後の展開は (2) 大規模マルシェと環境フェスタ等の市の行事との連携を考えては	市長 副市長 担当部長
		3. 人が集い、手取りが増えるまちづくりについて	(1) 瀬戸内市オープンクリエイション官民共創宣言について、次のことを問う ① 導入した理由は ② 提案された事業を採用決定するまでの流れは ③ 採用された事業を実施するまでの流れは ④ 審査する方法は (2) 企業との連携で様々なことをやっいていこうとしているが、現状と今後の計画は (3) 駅前でのカーシェアリング導入の検証はどのように進めるのか (4) 障害福祉事業所などで働いている障がいを持つ人たちの手取りが増えるための市としての取組と今後の計画は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
9	9 番 秦井誠司	1. ゼロカーボンシティの 実現について	<p>(1) 重点対策加速化事業についての進捗と評価は</p> <p>(2) 重点対策加速化事業は、あと2年となる。事業終了後の展開策は</p> <p>(3) 脱炭素先行地域づくり事業の進捗と評価は</p> <p>(4) 脱炭素先行地域づくり事業の主要な柱である瀬戸内市民電力株式会社の進捗は</p> <p>(5) ゼロカーボンシティ宣言の現在の進捗は</p> <p>(6) ゼロカーボンシティ宣言の達成に向けた今後の具体的な課題とその取組をどのように認識しているのか</p>	市長 副市長 担当部長
		2. 財政状況について	<p>(1) 本市の財政概要等について公表された。令和8年度の当初予算において財政調整基金の取崩しをしているが、その具体的な理由と、今後の具体的な課題及びその取組は</p> <p>(2) 令和8年度当初予算の歳入の根幹である市税が、令和7年度と比べ減額している。その理由と対策は</p> <p>(3) 令和8年度当初予算の歳出では、民生費、総務費が令和7年度と比べ増額している。その理由と対策は</p> <p>(4) 令和7年度病院事業会計にて、資本的収支が令和6年度と比べ減額している。その理由と対策は</p> <p>(5) 水道事業会計並びに下水道事業会計について、物価高騰、賃金アップにより今後はさらなる経営が厳しい状況と思われるが、その対策は</p>	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
9	9番 秦井誠司	3. 岡山県が指定する高潮 浸水想定区域について	(1) 岡山県は、台風の大型化・強大化による高潮被害に備え、高潮浸水想定 区域を指定した。これにより新たな義務が課せられるが、その内容及び それぞれの対策は (2) 民間事業者との関連性及び今後の進め方は	市長 副市長 担当部長
10	6番 木下公文	1. 鹿忍旧塩田跡地につい て	(1) 以前から質問をしているが、地権者との協議はどの程度進んでいるのか (2) 市としてはどのような解決策を考えているのか	市長 副市長 担当部長
		2. 情報公開制度の運用に ついて	(1) ここ3年間の開示請求の件数について、全部開示、一部開示、非開示、 それぞれの件数は。また、不服申立ての件数及び処理状況は (2) 不服申立てが出た場合、審査会で審査することになるが、審査会のメン バーは何人で、どのような人たちか。また、開催状況は	市長 副市長 担当部長
		3. 物価高騰対策について	(1) 物価高騰による市民生活や事業活動への影響をどのように分析している のか (2) 市民や市内の事業者に対して市独自の生活支援策や事業支援策は考えら れないか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
11	4 番 増田貴之	1. 農業問題について	(1) 稲作農家への直接支援を行ってはどうか (2) 営農型太陽光発電の設置における展望と課題をどのように捉えているか (3) 営農型太陽光発電に関する市独自のガイドラインを策定してはどうか	市長 副市長 担当部長
		2. 災害時の避難について	(1) 個別避難計画の対象とならない高齢者や障がい者、孤立地域の方々の避難をどのように想定しているか (2) 市内の指定避難所において、ペット同行避難をどのように想定しているか	市長 副市長 担当部長
		3. 平和と市民生活について	(1) 本市は世界連邦平和都市宣言及び平和首長会議への加盟を行っているが、具体的事業は (2) ナフサ不足による市民生活と中小事業者への影響をどのように捉えているか	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
12	3番 原田 茂	1. 教育振興について	(1) 令和7年度全国学力テストの結果をどう評価し、今後の具体的な対策をどう講じていく考えであるのか (2) 図書館での過去3年間の購入冊数と貸出冊数は	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 情報管理について	(1) 令和7年11月と令和8年5月にメールアドレスや氏名が流出した経緯と、再発防止の対応策は (2) 行政委員の住所や電話番号をどのように管理しているのか (3) 民間企業において情報の流出で事業に痛手を受けている報道を聞くが、本市の情報管理はどうなっているのか	市長 副市長 担当部長
		3. 長船駅について	(1) 乗降者数を増やすためにはバリアフリー化が必要なのではないか (2) 駐車場の駐車可能台数の推移はどうなっているのか (3) これからの整備計画は	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
13	7番 鳶原 舞	1. いじめ問題への行政的 取組の具体化について	<p>(1) 令和8年2月議会の会派代表者質問において、かなえの会を代表して成本議員から提案した、いじめゼロに向けた取組について問う</p> <p>① 市長の行政報告において、令和9年4月から「教育・行政・司法」の三位一体によるいじめ対策を導入するとの方針が示された。この取組を着実に実現するため、現時点における必要な予算規模、具体的な推進工程、及び市長部局に設置する専門チームの人員構成の見通しは</p> <p>② 被害に遭っている子どもたちがいち早く安心して学べる環境に戻れるようにするため、体制を整えておく必要があると考える。専門性を備えた地域おこし協力隊員を配置しては</p> <p>③ 行政的・法的手法を導入するに当たり、担当部局と教育委員会との明確な役割分担、並びに迅速かつ公正な対応を担保するための条例制定の必要性及びそのスケジュールは</p> <p>④ いじめ被害の早期発見・早期解決には、子どもたちが学校以外に声を上げられる相談窓口の整備と、寝屋川市のような「攻めの情報収集」の仕組みが不可欠である。これらの具体的な整備方針と、「子育て世代に選ばれるまち・瀬戸内市」の実現に向けた市長の決意は</p>	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
13	7番 鳶原 舞	2. 避難所、公共施設、個人宅におけるトイレ環境の整備について	<p>(1) 今回導入する自動ラップ式トイレ 30 台、オストメイト専用トイレ 9 台の選定経緯と具体的な設置場所、導入後の維持管理体制及び市民への周知・訓練方法は</p> <p>(2) 災害時に避難所と設定している既存の公共施設で、トイレが完全洋式化されていない施設はどこか。また、今回の避難所等へのトイレ整備を一つの契機として、市内の既存公共施設における和式トイレの洋式化を計画的、継続的に推進すべきと考えるが市の見解は</p> <p>(3) 高齢者の転倒防止や在宅避難時のトイレ確保という観点から、個人宅における和式トイレの洋式化は喫緊の課題である。他自治体における補助制度の先進事例も踏まえ、本市において個人宅トイレ洋式化への支援を導入しては</p>	市長 副市長 担当部長
		3. 子育て支援の充実に向けた紙おむつのサブスク립ションサービスの導入について	<p>(1) 令和 7 年 6 月議会の一般質問で提案した、公立保育園での紙おむつのサブスク립ションサービス導入について問う</p> <p>① 前回の質問時の回答で、市は令和 7 年度中に保護者へのアンケートを実施する意向を示した。アンケートの実施状況と結果、及び市内保育施設における紙おむつサブスク導入の現状について市の評価は</p> <p>② 全国トップクラスの合計特殊出生率を誇る岡山県奈義町や笠岡市でも導入されているように、紙おむつサブスクは保護者の持参、記名の手間を省き、月額約 2,500 円の定額で利用できる。保護者と保育士の負担軽減に加え、すくすくチャイルドサポート制度と組み合わせることで、さらなる少子化対策につながると考えるが市の見解は</p>	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
14	13番 河本裕志	1. 教育行政について	<p>(1) 今年度は教育長の任期最終年に当たり、その考えを問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 任期中に達成できたことは ② これから推進していく考えの施策は <p>(2) 中学校体育館のエアコン設置計画について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3中学校あるが、今年度はどの中学校から着工するのか ② 工事計画は、どうなっているのか ③ 3中学校が設置完了するのは、いつ頃を計画しているのか ④ 断熱工事の計画は、どうなっているのか 	教育長 担当部長
		2. 瀬戸内市のイメージについて	<p>(1) 市長は、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」を政策理念として打ち出している。岡山県は1989年に「晴れの国おかやま」という愛称で岡山県のトータルイメージを表現し、牛窓町は1982年に姉妹都市縁組を行い、「日本のエーゲ海」という愛称で多島美やオリーブ畑の風景をPRしている。そこで瀬戸内市の愛称について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市の愛称を募集して、プロモーションしないのか ② 旧3町にはすばらしい歴史、文化、産業がある。それぞれの愛称を募集して、まちづくりに生かすことを考えてはどうか 	市長 副市長 教育長 担当部長
		3. JR駅舎の活用について	<p>(1) JRの駅は、市や観光客にとって大切な顔であり、毎日の乗降客にとっても大切な場所である。JR邑久駅と長船駅の駅舎は無人駅になって、活用されていないようである。そこで市の考えを問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全国的には、駅舎を待合場所や観光案内、市民の憩いの場所、待合時間に仕事などで活用できる場所になっているようで、市として駅舎の活用は考えないのか 	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
15	5番 相澤忠明	1. 生徒が安心して学べる 公共学習環境の整備に ついて	(1) 本市の図書館は、生徒が放課後や休日に学習する大切な場所となっている。一方で、試験期などには座席が不足する状況もあると聞く。座席数、混雑する曜日や時間帯、試験期の利用状況等をどの程度把握しているか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 大学、高専、企業等と の小さな連携による地 域資源の活用について	(1) 本市には、海、農地、空き家など、学びや研究の題材となる地域資源がある。過去5年間で、大学、高専、企業等から、調査、研究、研修、地域実習、商品開発等に関する相談や連携実績はどの程度あったか。また、現在の相談窓口や庁内外へのつなぎ方は (2) 地域資源があっても、外部から見て「瀬戸内市で何ができるのか」、「どこに相談すればよいのか」が分かりにくければ、連携にはつながりにくい。市として、地域資源や活用可能な施設、連携先、想定テーマ等を整理し、大学、高専、企業等に分かりやすく示す考えは (3) 前島などで、大学のゼミ、高専の学生、企業人材等を短期間受け入れ、調査、学習、地域交流、商品開発、課題解決などに取り組む小規模なモデルを試す考えは	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
15	5 番 相澤忠明	3. 地域ビジネス支援センターの有効利用について	<p>(1) 多種多様な利用者を想定し、相談、交流、事業化、販路開拓、資金調達、雇用・人材確保などへつなげる運用方針をどのように具体化していく考えか</p> <p>(2) 商工会、ゆめワークせとうち、ジョブスポットせとうち、市の関係部署、金融機関、外部専門家などがどのように役割分担し、創業支援、経営支援、就労支援、人材確保、職場定着支援までを一体的につなぐ体制を構築していく考えか</p> <p>(3) 中高生、大学生、若手社会人などが地元企業や地域課題に触れることで、市内就職、Uターン、創業につながる具体的な事業を組み込む考えはあるか</p>	市長 副市長 担当部長
		4. 林野火災予防に向けた周知啓発と制度運用について	<p>(1) 令和8年4月から運用が始まった林野火災注意報・警報制度について、これまでの発令状況、消防車両等による巡回広報の状況、屋外での火の使用に関する問い合わせの状況や煙・たき火等に伴う通報・出動状況は</p> <p>(2) 野焼きやたき火など、これまで身近に行われてきた屋外での火の使用についても、改正後の条例等の適用により注意すべき点があることを踏まえ、高齢者、農業者、自治会、地域行事に関わる方々などに対し、今後どのように分かりやすく周知啓発を進める考えか</p>	市長 副市長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
16	8番 成本 崇	1. 生成A Iの導入状況と 今後の方針について	(1) 市の業務における生成A I等の導入・活用状況はどのようなものか。また、全庁的な展開に向けた方針やロードマップはあるか (2) 議事録作成や文書起案等の定型業務にA Iを活用する計画はあるか。また、職員のA Iリテラシー向上に向けた研修や体制整備をどう進めるか (3) 問合せ対応の自動化、多言語対応、観光案内など、住民サービス向上のためA Iの活用を検討する考えはあるか	市長 副市長 担当部長
		2. ウォーターPPP（水の官民連携）の発展的な活用について	(1) 令和9年度（2027年度）以降、国から污水管改築の交付金を受けるにはウォーターPPPの導入を決定済みであることが要件化されるが、対応状況は (2) 国の財政支援を活用して導入可能性調査を実施する予定はあるか	市長 副市長 担当部長
		3. 放課後児童クラブでの作業療法士（OT）活用による子ども支援の充実について	(1) 市内放課後児童クラブにおいて、発達障害またはその傾向があり配慮を要する児童の状況及び支援員が対応に困難を感じているケースについて、市はどのように把握しているか (2) 岡山県放課後児童クラブ学びの場充実事業等の補助制度を活用し、作業療法士を放課後児童クラブへ定期的に派遣して、児童への支援把握や支援員へのアドバイスを行う仕組みを設ける考えはあるか (3) 支援員のスキルアップと職場環境の改善を目的として、岡山県作業療法士会と連携し、作業療法士を講師とする研修を実施する考えはあるか	市長 副市長 教育長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
17	11 番 日下俊子	1. 行政姿勢について	<p>(1) タウンミーティング長船会場における、市長の「子どもには 80 億円しか使っていないが、お年寄りには 120 億円も使っている」という発言について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子どもというのは、何歳から何歳までの何人か ② 80 億円は、何の経費か ③ 子ども一人当たりになると、一人いくらか ④ お年寄りというのは、何歳から何歳までの何人か ⑤ 120 億円は、何の経費か ⑥ お年寄り一人当たりになると、一人いくらか ⑦ この発言の真意は <p>(2) 4月号の広報に印刷された市営バスの無料乗車チケットについて問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 4月号で配布することについては、いつ決めて、議会にはいつ、どのように報告したのか ② 利用実績は 1,740 枚と聞いたが、路線ごとの利用実績は ③ 今回の無料乗車チケットは、値引きか、寄附か、謝礼か、会計処理上はどの費目で処理するのか ④ 今回の無料乗車チケットの配布は、法的に問題はないのか ⑤ 広報に印刷された無料乗車チケットだと、市民全員に行き渡らないことについてはどう考えるか ⑥ 今回の効果をどう捉え、どう総括するか ⑦ 各種タクシー利用券や市営バスの無料乗車チケットの配布などは、継続して実施するのか。それとも、現在は試行ということで今後方向性を変える可能性があるのか ⑧ 上記の質問を踏まえ、今後の公共交通のあり方について、どのように考えているか 	市長 副市長 担当部長

